

みずほCustomer Desk Report 2016/06/07 号(As of 2016/06/06)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	106.61 AUD/USD
TKY 9:00AM	106.69	1.1350	121.10	0.9761	1.4388	0.7343
SYD-NY High	107.66	1.1393	122.35	0.9775	1.4510	0.7392
SYD-NY Low	106.35	1.1326	120.84	0.9683	1.4352	0.7316
NY 5:00 PM	107.57	1.1356	122.13	0.9706	1.4436	0.7368
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	11.69/12.24		△25RR	1.163	Yen Call Over	

NY DOW	17,920.33	113.27	債券市場	日本2年債	-0.2390	▲0.9bp
NASDAQ	4,968.71	26.20		日本10年債	-0.1100	▲1.5bp
S&P	2,109.41	10.28		米国2年債	0.7953	2.4bp
日経平均	16,580.03	▲62.20		米国5年債	1.2500	1.9bp
TOPIX	1,332.43	▲4.80		米国10年債	1.7367	3.6bp
シカゴ日経先物	16,705	330.00	為替市況	独10年債	0.0860	1.8bp
ロンドンFT	6,273.40	63.77		英10年債	1.2800	0.4bp
DAX	10,121.08	17.82		豪10年債	2.1570	▲7.5bp
ハンセン指数	21,030.22	82.98		USD/CNH	6.5614	0.0193
上海総合	2,934.10	▲4.58		ドルインデックス	94.05	0.02
USDJPY 3M Vol	10.88	▲0.15%	商品市況	CRB指数	191.270	2.60
USDJPY 6M Vol	10.81	▲0.14%		NY金	1,247.400	4.50
EURJPY 3M Vol	11.34	0.23%		WTI	49.690	1.07
EURJPY 6M Vol	11.20	0.14%		Dubai Spot	45.94	0.28

東京	先週金曜日のドル売り優勢の流れを引き継いでシドニー時間に106.35の安値まで下落したドル円は、106.69レベルで東京時間オープン。浅川財務官の「為替市場の動向を注視している」との発言や、官房長官の「投機的な動きが継続することが無いように為替市場の動向を緊張感を持って注視し、必要なときはしっかりと対応したい」との発言があったものの、相場への影響は限定的。しかし、午後にかけては、一時間前日比300円超安となっていた日経平均株価が下げ幅を縮小させたこと等から、107.18まで上昇。その後は、海外時間にイエレンFRB議長の講演を控えて動意に欠け、107円ちょうど辺近でレンジ推移。結局ドル円は106.98レベルで海外に渡った。(東京15:30)
シドニー	ロンドン市場のドル円は、106.98レベルでオープン。先週金曜日に発表された弱い米雇用統計後のドル売りが一巡する中、アジア時間にも発言していた浅川財務官が再度、「為替の投機的な動きは好ましくない。緊張感を持って注視していく。」とコメント。これを受けてドル円は107.28まで上昇した。しかし、上値は重く、結局ドル円は107.09レベルまで下落してNYに渡った。ユーロドルは、1.1340レベルでオープン。NY時間に予定されるイエレンFRB議長の講演を控えて、様子見ムードから小幅レンジ推移。オープンレベルとほとんど変わらない1.1342レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.4375レベルでオープン。EU離脱を巡るECM/ORB世論調査(オンライン)の結果発表を控える中、調整的なポンド買いが入り、1.4464まで上昇。しかし、その後、発表されたECM世論調査が、EU離脱48%・残留43%と、離脱派優勢であったため、1.4365まで反落。結局、1.4395レベルでNYに渡った。(ロンドン7月00531 444 179 山本)
ニューヨーク	NYのドル円相場は107.09レベルでオープン。朝方、イエレンFRB議長の講演を控える中、原油の買い戻しにつられて米株式市場が上昇して始まると、ドル円107.40付近まで連れ高となった。午後に入り、イエレンFRB議長は講演で、低調な5月雇用統計に懸念を表明したものの、「条件が合えば緩やかな利上げが適切になる可能性」を繰り返しており、利上げ時期について具体的な言及もなかったため、大きなサプライズとならなかった。ドル円は、一旦ドル売りが強まって106.84まで下落する場面も見られたが、米株式市場が日中高値を更新すると、ドル円の下げも一時的に留まり再び107円台へ反発。終盤、ショートカバーが強まってドル円は一時107.66まで上値を伸ばし、107.57レベルで海外市場へ渡った。一方、ユーロドルは1.1342レベルでNYオープン。先週の弱い米雇用統計を受けたドル売りが続き、ユーロドルは本日も買い戻しが優勢となった。イエレンFRB議長が米5月雇用統計に懸念を表明したことを受けて、一時ドル売りが強まる局面があったものの、堅調な株価を背景にユーロ円が上昇するとユーロドルは1.1393まで上昇した。終盤、ドルのショートカバーが入り、ユーロドルは1.13台半ばまで軟化し、1.1356レベルで海外市場へ渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:佐藤(雅)・坂本

【昨日の指標等】

Date	Time	独	Event	結果	予想
6月6日	15:00	独	製造業受注(前月比/前年比)	4月 -2.0%/~0.5%	-0.5%/0.6%
	23:00	米	労働市場情勢指数	5月 -4.8	-0.8
6月7日	01:30	米	イエレン・FRB議長 講演	-	-

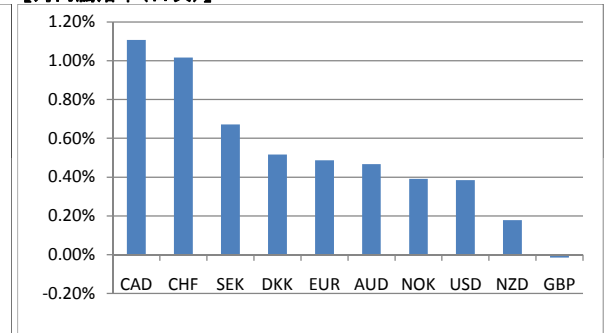
【本日の予定】

Date	Event			予想	前回	
6月7日	13:30	豪	RBAキャッシュレート	-	1.75%	1.75%
	14:00	日	景気先行CI指数(速報)	4月	100.7	99.3
	14:00	日	景気一致指数(速報)	4月	112.7	111.1
	15:00	独	鉱工業生産(季調済・前月比/前年比)	4月	0.7%/1.0%	-1.3%/0.3%
	18:00	欧	GDP(季調済・確報・前月比/前年比)	1Q	0.5%/1.5%	0.5%/1.5%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	106.50~108.00	1.1300~1.1400	121.30~122.80

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場のドル/円相場は、底堅い展開となった。注目されたイエレンFRB議長の講演では、市場予想を大きく下回った米雇用統計について懸念を示した一方、条件が合えば緩やかな利上げが適切となる可能性を指摘したことで、ドルは底堅く推移し、107.57円レベルでクローズ。本日のドル/円相場は、上値の重い展開を予想する。先週末に発表された米雇用統計が市場予想を大きく下回ったことで、米労働市場の趨勢を確認する必要性が出てきており、雇用関連指標の発表を待つ必要がある。昨日のドル買い戻しの動きは、週末に急速に進行した円高の調整の範囲内と考えるのが妥当で、ドル/円相場は上値が重い展開となりそうだ。